

新たな年の到来を祝う正月は、沖縄では「シチグッチソーグッチ（七月・正月）」とも称するように、7月の盆とならんで数ある年中行事の中でも特に重要なものとされてきました。そのため、他県と同じように新暦で祝うことが主流となった今日においても、県内では

地域ごとに特色ある正月の儀礼や習俗をいくつもみることが出来ます。

本講演では、沖縄の人々が正月をどのように捉え、どのように祝ってきたのかを、伝統的な年末年始の儀礼や供物、正月飾りなどを通して紹介していきます。

2024.

12/14 Sat.

◆時間◆

13:30 ~ 15:30

◆場所◆

沖縄県立図書館
3Fホール

沖縄の正月

令和6年度 沖縄県立図書館歴史講座

元旦

参加無料

お申し込み不要
(先着80名)ご来館の際は公共交通機関を
ご利用ください

講師：稲福 政斉氏

那覇市出身。長年にわたり祭具や供物などの「もの」を視点の中心に据えつつ沖縄各地の祭祀や信仰、しきたりについて調査研究を続けるとともに、その成果をわかりやすく紹介する執筆や講演活動等に取り組む。現在、沖縄県文化財保護審議会専門委員、沖縄国際大学・沖縄大学非常勤講師のほか、県下各地の市町村において文化財、博物館に関する委員をつとめる。

著書に『沖縄しきたり歳時記』(2015)、『御願の道具と供えもの事典』(2018)、『ヒヌカン・仏壇・お墓と年中行事』(2020)、『「御願じょうず」なひとが知っていること』(2024)などがある。

◆問合せ◆

沖縄県立図書館 098-894-5858(代表) 担当:本村